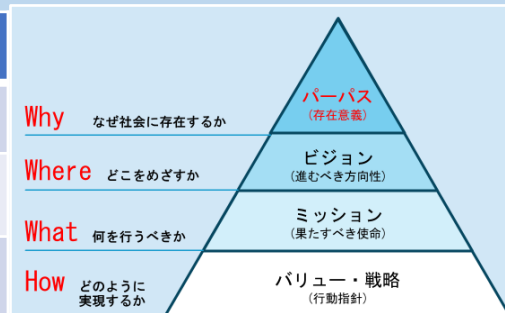


中期経営計画の概要

1. 経営の基本理念

(1) パーパス (存在意義)	公園から始まる、しあわせのとき。緑に、笑顔あふれる。
(2) ビジョン (進むべき方向性)	県民のしあわせを支える公園の価値創造パートナー
(3) ミッション (果たすべき使命)	時代潮流をとらえ、公園のポテンシャルを最大限に活かして、 県民ニーズをふまえたサービスの充実に努めます。
(4) バリュー (行動指針)	①お客様ファースト ②安全安心 ③チャレンジ ④価値共創 ⑤社会貢献



2. 策定の趣旨

変化が激しく予測困難な時代(AI等の技術革新、グローバル化等)



今後5年間(R8~12)の当財団の**目指すべき将来の姿**を可視化し、**実現のための道筋**を明らかにする。

3. 策定の手法

- ・**役職員のワーキングチーム**で計画案を取りまとめ
- ・**若手プロパー職員**の意見や要望を集約
- ・**利用者アンケート結果**を反映

4. 戦略の体系

戦略区分 (SWOT分析)	基本戦略	重点戦略
1 積極戦略 財団の競争優位性を活かす	(1) 公益・収益事業の拡充強化 (2) ウェルビーイングを高める公園づくり (3) 公園ポテンシャルの活用 (4) 人流を生むにぎわいづくり (5) 生物多様性の保全	① 新たな事業へのチャレンジ ② 新たなイベント等による賑わい創出 ③ 体験活動や環境教育の推進 ④ 魅力を高める施設の整備・誘致 ⑤ 新武道館オープンに伴うソフト事業の充実 ⑥ パークPFI事業者等との連携強化 ⑦ 遊休空間の利活用 ⑧ 利用者の利便性の向上
2 差別化戦略 脅威を逆手に取り差別化を目指す	(1) 防災機能の充実 (2) 公園等の利用促進 (3) 持続可能な施設管理	① 防災イベントの充実 ② リピーターを増やす取組み ③ 予防保全と適切な維持管理 ④ 省力化や省エネルギーの推進
3 改善戦略 財団の弱みの改善を進める	(1) 人材の育成 (2) DXの推進 (3) 不足部門の補強	① 計画的なプロパー職員の採用育成 ② キャッシュレス化・ペーパーレス化 ③ 施設予約システムの刷新 ④ 物販・飲食施設の導入可能性調査の実施
4 転換戦略 弱みを理解し脅威に備える	(1) 民間企業等との共創 (2) 選択と集中	① 民間企業とのJV(共同事業体)構築 ② 新川子ども施設や観光施設等との連携 ③ 管理施設や事業のダウンサイジング ④ 公益充実資金の創設

5. 進行管理

- ・PDCAサイクルの実行
- ・KPI(重要業績指標)の設定(来園者数、料金収入額など)

(参考)財団の指定管理施設のネットワーク

- ① 県民公園大間山ランド
- ② 富山県こどもみらい館
- ③ 富山県五福公園
- ④ 富山県総合運動公園
- ⑤ 自然博物館いの里
- ⑥ 県民公園野鳥の園

